

「遊休農地産」はいいかが

ネットショップ「採れたて長野」内に特設コーナー

販路拡大へ県農業会議が推進

県産農畜産物を販売しているネットショップ「採れたて長野」（運営・㈱ソリタワ）荒井久代表取締役、東京都文京区）に16日、県内農業委員会などが遊休農地を再生して栽培した農産物を原料にした、菊芋などの農産加工品だけを扱ったコーナーが開設された。

再生農地生まれの農産加工品

菊芋などそろそろえ今日開設

これは、県内の農業委員会が遊休農地を活用した農産加工品の販売に苦戦していたため、同社のインターネットショップを使って販路拡大を図ろうと県農業会議が取り組み始めたもの。同会議では1月から農業委員会に商品を募り、県出

身の荒井社長の協力で準備が進められてきた。荒井社長は「取り扱い品を増やしていきたい」としている。同社は、出版・広告などを行う企画制作会社だが、昨年1月に川上村村長の藤原忠彦さんの著書「平均年取2500万円の農村」を

同ショップには、荒井社長が自ら現地を訪ね歩いて集めたこだわりの果物、野菜、米、加工食品とそれを生産する農家の詳しい情報が多数、掲載されている。詳しくは同社ホームページ（<http://www.forestaten.jp>）（<http://www.forestaten.jp>）#7。

刊行した時に、一般消費者から「同村の特産レタスをどこで買えるのか」との問い合わせが多数あったという。同社長はこれに 대응しようと、昨年6月に県産特産品だけを扱うネットショップ「採れたて長野」を同社のホームページ内に開設した。